

令和2年実施 町政懇談会の記録 (01 防災)

朱書きは、後日回答するとしたもの及び訂正箇所です。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (青書きは、令和3年3月31日現在の対応状況です。)	担当課等
筒井	10月31日	01防災	2級河川のハザードマップ作成について	重信川のハザードマップは、被害発生頻度が低く、規模が大きすぎるため、道路冠水等の被害発生頻度が高い、長尾谷川等2級河川のハザードマップが必要ではないか。	2級河川のうち、大谷川については、県が浸水シミュレーションを行い、今年度中に町がハザードマップを作成する予定です。長尾谷川等その他2級河川については、現在水位周知河川に指定されていないため、河川管理者の県によるシミュレーションが実施されておらず、浸水シミュレーションのデータがありません。町としても、当該データが必要と考えますが、費用も発生するため、協議の結果により、町においてシミュレーションの実施を検討します。 ⇒ 引き続き愛媛県へ水位周知河川に指定されるよう要望します。	総務課
筒井	10月31日	01防災	筒井地区の浸水対策	過去の町政懇談会で、筒井地区の浸水対策について、国近川へ雨水を放流する計画の説明を受けていたが、従前の水路改修等による雨水対策事業を実施することについては、説明がなく承知していなかった。水路改修等による雨水対策事業を実施するのか。	浸水シミュレーションを行った際に、国近川への雨水の放流を検討しましたが、放流する結果には至らず、一番効果があったのは、筒井地区の水路拡幅等の実施であったため、従前の水路改修等による雨水対策事業を実施することとしました。 平成30年10月25日に筒井地区雨水対策事業説明会を開催し、地元の方へ説明を行いました。今後も事業の周知について努めます。	まちづくり課
塩屋	11月7日	01防災	重信川の防災対策工事	現在、国が実施している重信川の河床掘削等防災対策工事では、安全性が担保されていないと思うので、実効性のある対応となるよう働きかけをしてもらいたい。	河床掘削については、国に対し、今後も継続して取り組んでもらえるよう要請しています。また、今年度から「重信川流域治水協議会」を流域市町や関係機関で設立し、今後の治水対策を「重信川流域治水プロジェクト」として策定し、その中で浸透対策などの治水対策に取り組むこととしています。	まちづくり課